

西部地域支え合い 協議会だより



令和 7 年 5 月 発行
発行 西部地域支え合い協議会
発行責任者 長島 安一
鶴ヶ島市西市民センター 1 階
受付時間：水・金 10時～12時
☎・fax 049-214-4005

支え合い協議会の歩み～たゆたえども沈まず～それでも、なお～

『西部地域支え合い協議会』は、平成28年6月に地元14自治会(上・中・下新田第三、町屋、新町、高倉上・下・第二)を中心に設立されました。鶴ヶ島市からの補助金を主な財源として、西部地域の皆様が互いに連携・協力して支え合う地域づくりを目指すボランティア団体です。しかしながら近年は、役員の高齢化・体調等の関係で協議会の存続が危ぶまれる状況となっております。

まさに大波に揺られるような状況の中で、令和6年初めに「西部地域支え合い活動アンケート」を実施しました。その結果、地域のために「それでも、なお」と、積極的に地域活動に協力していただけるという回答は182名もいらっしゃいました。西部地域支え合い協議会は沈むことなく、心機一転昨年4月より活動を継続・再開することができるようになりました。

今後とも地域支え合い活動への皆様方からのご理解・ご協力をお願い申し上げます。

支え合う地域を目指して ～お互いさまの関わりを～

会長 長島安一

これから年齢を重ねていく中で、どのように暮らしていきたいのか。また、どのような地域を次代の子どもたちに引き継ぐべきなのか、を考えました。住み慣れた地域で楽しみを持ち続けたい、介護が必要になってもできるだけ自宅で暮らしたい、地震のことも心配だ、等々。

そのためには、支え合いのある地域づくりが必要だと思います。いくつかのお互いさまを考えます。

- 私の少しの手助けが、「ありがとう」によって逆に私の元気や充実感になる。だから、お互いさま。
- 困っている人へのおせっかいが「ありがとう」に変わる。だから、お互いさま。
- 誰でも順番に年をとる。自分も将来きっとお世話になる。だから、お互いさま。

そのようなお互いさまの関係が当たり前の地域になっていければよいな、と思います。

『西部地域支え合い協議会』の活動について、いくつか紹介します。

○ 日常業務(窓口業務)～西部助け合い隊～

西市民センターが開いている毎週水・金曜日の10:00～12:00に、センター1階事務所に当番がいます。“ちょっとした困り事”などの相談にお寄り下さい。または、お電話ください。対応できることがありますし、有効な方法を一緒に考えるようにします。『助け合い隊』を利用した方からの声を紹介します。

一人での生活ですが、庭の芝の手入れが出来ずに困っていました。支え合い協議会での『助け合い隊』という活動に、初めて頼みました。訪問していただいた方が、故障して使えなかった芝刈り機を修理して、とても丁寧かつ親切に作業をしていただきました。費用が思ったよりも低額なことにも驚きました。

その後のことですが、初見の業者さんに対応していた際、先日お世話になった助け合い隊の方が、不審者かと思って声かけてくれました。自分の事を気にかけていてくれることが、うれしく安心した気持ちになりました。

また、近所の方に「ゴミ出すの手伝ってやるよ。」と声をかけてもらったりするのですが、とてもうれしい気持ちです。(新町にお住まいのOさん)

以前から、庭での園芸や構造物を作って楽しんでできました。最近では一人で維持管理する状況になり、一人ではとてもできないし、ひとりでやろうとすると気分が落ち込むし、困っていました。シルバーさんとかプロの方に頼むのは金銭的にも難しく感じていました。そんなとき、支え合い協議会の活動をしている知人から『助け合い隊』のことを聞きました。お願いすると、助け合い隊の方々が来てくれて、一緒に活動できました。とても丁寧に良くやっていただきました。

終わった後、自分もお手伝いできることがあれば、自分ができることを何かしてあげたい、と思いました。一歩踏み出したい気分が高まりました。

頼んだ仕事が終わってからも、地域の方に知り合いが増えました。(新町にお住まいのHさん)

他には、放課後子ども教室、敬寿のつどい、子ども食堂、防犯講演会、オレンジカフェ、地域防災訓練、各種イベント参加協力、中高校生の学習スペース、等々。地域作りのための皆様からのご協力をお願い致します。ご連絡をお待ちしております。

